

STOP！！猫の多頭飼育崩壊！

～ 県動物愛護センターに持ち込まれる猫の半数以上が多頭飼育者からです ～

～ 猫を飼ったら、すぐに不妊去勢手術をしましょう ～

新潟県動物愛護センターには、猫を飼っていたら何十頭にも増えてしまい、とても手に負えないので困っているという飼い主さんから、多くの相談が寄せられています。

◎ 多頭飼育崩壊を防ぐために・・・

- 1 猫を保護したり飼育する際は、不妊去勢手術を最優先で行ってください。
メス猫の不妊手術費は1頭2～3万円ほどかかりますが、多数になると費用負担も膨大になります。また、増えてしまったからのえさ代も多額となります。
- 2 ご家族や友人知人が猫を飼い始めたら、最初の一匹に手術するよう勧めてください。
- 3 犬や猫での困りごとは、動物愛護センターに早期に相談してください。

◎ 多頭飼育崩壊って何？

一般的には無秩序にペットが増え、飼い主が適正に飼育できる数を超えた結果、経済的にも破綻し、ペットの飼育ができなくなる状況を多頭飼育崩壊と言います。

多くの場合十分な世話がされておらず、不衛生な環境で病気や奇形の猫が多数飼育されており、飼い主だけでなくペットの生活にも支障が出ています。



出典：新潟動物ネットワーク啓発パネル

◎ 猫の繁殖力と不妊去勢手術のメリット

猫は生後6か月で妊娠できるようになり、1回で4～8匹を出産します。新潟県の気候でも年に2回出産することができるので、妊娠している猫を飼い始めた場合、1年で20匹以上になったという相談事例も来ています。

メリット

- ①子猫が生まれることがない
- ②オスはスプレー(マーキング)行動をしなくなる
- ③発情期特有の大きな鳴き声がない
- ④「恋人より飼い主が大好き」で生涯を過ごすことができる

5月13日(日)放送の県広報番組「週刊県政ナビ」でもこの問題を取り上げます。

お問い合わせ先

新潟県動物愛護センター [担当] 大関、村越
 長岡市関原町1丁目2663-6
 電話 0258-21-5501

参考資料

1 多頭飼育崩壊の県内事例

多頭飼育崩壊の現場①

センターに相談があって現場確認に行くと、一軒のお宅に60匹以上の猫がいるという状況。



多頭飼育崩壊の現場②

飼い主も何匹の猫がいるのかを把握できず、えさ代などの経済面からも、糞の処理など衛生面からも、飼い主の生活が成り立たなくなっている状況。



2 新潟県動物愛護センターでの多頭飼育者からの引取り

新潟県動物愛護センターに、平成24年度から平成29年度までの6年間に、10頭以上の猫を引取りに出した飼い主は86人で、頭数ベースでは飼い主からの引取りの半数を占めています。

一人で10頭以上ですから一回の出産ではありません。猫の数が増えると、えさ代や1頭当たり2～3万円の不妊手術費用の負担が難しくなり、日常生活まで圧迫することになります。

増える前に手術をするよう、県民の皆様幅広く知っていただくことが大切だと考えています。

多頭飼育者からの猫の引取り(新潟県動物愛護センター)

	猫の引取申請をした多頭飼育者数	多頭飼育者からの引取頭数	飼い主からの猫引取総数	多頭飼育者からの猫の割合
平成24年度	12	195	550	35%
平成25年度	19	324	679	48%
平成26年度	20	439	637	69%
平成27年度	8	192	414	46%
平成28年度	15	224	438	51%
平成29年度	12	231	351	66%
合計	86	1,605	3,069	52%

(注)1人から年間10頭以上引取りをした場合を多頭飼育者として集計



※1袋2.7kg600円のキャットフードを1日150g与えるものとして試算

出典：長野市パンフレット